

行政に收容されて殺処分対象となった乳飲み子の保護活動

非営利型一般社団法人ねこたまご

非営利型一般社団法人ねこたまごは、行政に收容された主に幼齢の子猫を保護し、譲渡先を探す活動を行っています。

【活動背景】

およそ10年前の札幌市では年間で1200頭もの乳飲み子の猫が殺処分されていました。母猫から引き離され人の手がなければ生きていけない命を救うために保護譲渡活動を始めました。

【活動目的】

現在、札幌市の安楽死以外の実質的な殺処分はゼロになりましたが、收容された乳飲み子はほぼ全て当会が受け入れをしている状況です。北海道の実質的な殺処分をゼロにすること、人とペットのより良い共生社会を実現することを目的に活動しています。



【助成金の用途・活動結果】

助成金は、シェルターの改装やエアコン購入などに充てていただきました。2023年度は行政からの保護依頼をすべて受け入れ、264頭と過去最多の保護数となりました。譲渡数は216頭に上りました。

講演会活動では子供たちに動物の福祉と愛護活動に興味を持っていただき、講演会後にボランティア活動に参加する児童もいました。

【団体からのメッセージ】

JAC環境動物保護財団様よりいただいた助成金により、シェルター設備を整える事が出来、より円滑な運営体制となり、保護猫達もより快適に生活をする頃が出来ていることに感謝いたします。
今後も保護の手を必要としている猫たちに手を差し伸べ、そして、一頭でも多く終の棲家を見つけてあげる為に活動を続けてまいります。

